

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立北山中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和5年4月18日（火）

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

- | |
|--|
| ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。 |
| ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。 |

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

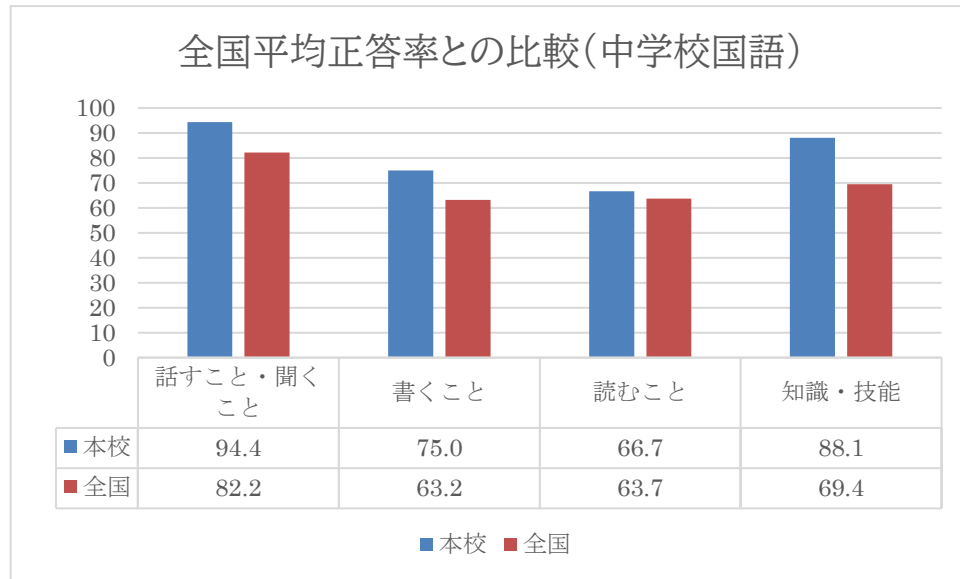
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語（中学校）に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全ての領域で、全国平均を上回る結果でした。特に「話すこと・聞くこと」「知識・技能」は、全国平均正答率を大きく上回っています。また、無解答率も 0.0% でした。

(2) 成果と課題

今回の調査で、全領域で全国を上回りました。普段から行っている学習の成果が表れていると考えられます。音読や漢字、言葉の学習などの知識・技能の領域の学習は、国語科の学習の根幹なす力のため、これからも重点的に取り組むべきものです。また課題としては、「読むこと」に関する問題が挙げられます。「読むこと」の中でも、表現の効果に関する選択問題では、正答率が 33.3% と全国平均よりかなり低い結果が出ています。これからは、内容を読み取るだけでなく、その表現を使うことでどんな効果があるのか、という「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で国語の総合的な力を付けていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

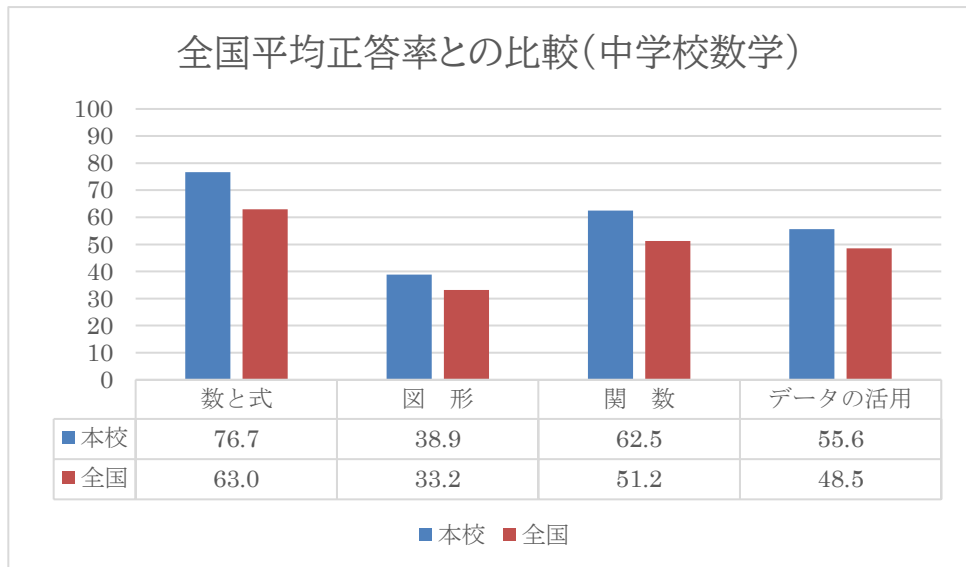
【学校では】

- 国語の力の向上のためには豊かな語彙力が必要です。その語彙力獲得のために、授業の中で辞書を活用する時間を設け、ことわざや慣用句などの語句の学習にも力を入れていきます。
- 正確に読み取るための学習として、週に一度の「言の葉タイム」で、読解力向上のためのドリル学習を行い、読み取るためのポイントを確認していきます。
- 読む力を付けるために、読み取った内容を発表したり、書いてまとめたりする時間を定期的に取り、根拠を明確にすることに留意した授業を行います。
習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。

【ご家庭では】

- 国語は継続的な学習が必要な教科です。毎日少しずつでいいので、新聞を読んで自分の考えをもつ、読書をする、漢字を書くなど言葉に接する機会を設けてみるといいと思います。すぐに力が付いたとは感じにくい部分もありますが、毎日の積み重ねを大事にしましょう。

2 数学



(1) 結果

全ての領域で全国平均を上回っています。しかしながら、「B 図形」の領域は、全国正答率と同様、低い結果となっています。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で0.0%でした。

(2) 成果と課題

今回の調査では、ほぼすべての問題の正答率が全国平均を上回っていました。全国平均を下回った問題は「反比例の意味を理解しているか」「累積度数の意味を理解しているか」「条件を変えた場面に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるか」でした。

今後、言葉の意味を理解すること、説明について数学の用語を用い適切に表現できること、計算や式の変形等で得られた結果の意味を考えることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

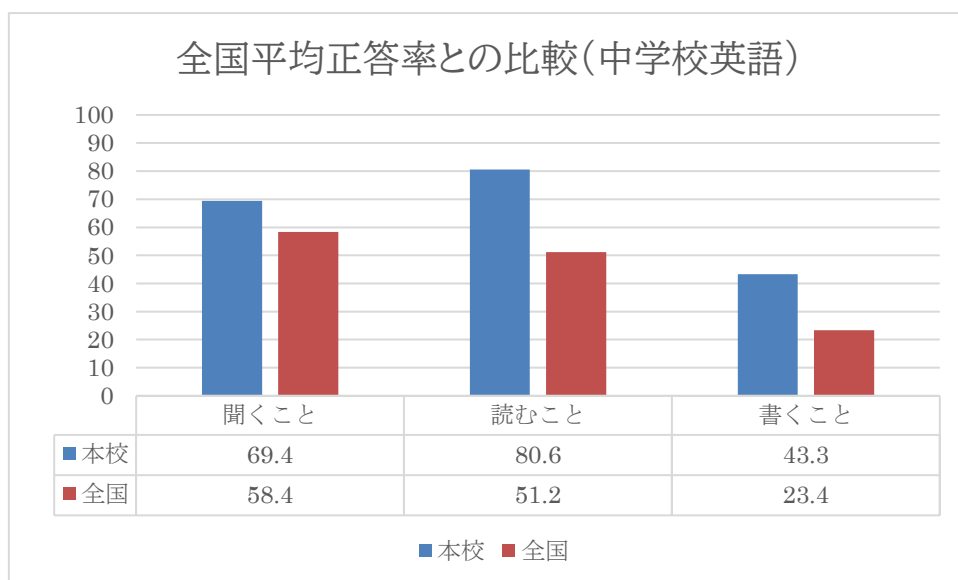
【学校では】

- 式から答えを出すだけでなく、式の意味を考えさせたり、計算や式の変形等で得られた結果の意味を考えさせたりするようにします。
- 授業では、友達と学び合う活動を通して、数学的な見方・考え方を育成し、思考力・活用力を高めます。また、既習事項をもとに考察し、式や数学の用語を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 課題チェック、プリント、ドリルなど日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見付け、学力の定着を図ります。

【ご家庭では】

- 数学では、単元ごとに単元シートを渡し、授業の計画や学習内容のポイントなどを示しています。予習や復習に活用してほしいと思います。
- 数学は積み上げの教科です。まとめて長い時間の勉強をするより、毎日、計画的に学習を続けていくことで力が付きます。また、授業があった日に復習をすると、一度忘れても思い出すのが容易になります。特に、間違えた問題や教えてもらった問題などを復習するとよいと思います。解けた喜びを味わうと数学が楽しくなってきます。励ましの言葉をお願いします。

3 英語



(1) 結果

全ての領域で全国平均を上回っています。無解答率は0.0%でした。

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」ともに、対全国比は高いです。「書くこと」に関しては、対全国比は19.9ポイント上回っていますが、全国の前答率自体が低く、本校の前答率も43.3%と50.0%を下回る結果でした。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「聞くこと」の領域の日常的话题について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取れるかどうかをみる問題の前答率が100%でした。また、「読むこと」の領域の事実と考えを区別して読み取れるかどうか、社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうか、文と文の関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題の前答率が100%でした。一方で、日常的话题について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題や、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の前答文を正確に書くことができるかどうかをみる問題には課題が見られました。

自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取るためには、話されること全てを聞き取ろうとするのではなく、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報かを判断した上で聞き取ることが重要です。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- まとまった英文を聞かせた後に、必要な情報を聞き取らせるリスニングを週1回、引き続き行います。単元の終末に行っているリスニングテストを活用しながら、「聞くこと」の活動を繰り返し行い、情報を正確に聞き取ることができるようにします。
- 授業での対話活動を引き続き活発に行い、会話の前後関係から自然に対話をし、また正確に書けるような活動につなげるなど、複数の領域を統合した言語活動の充実を図ります。

【ご家庭では】

- 授業以外でも英語を使う機会を増やすこと、毎日継続して英語学習を続けることが英語力の向上につながります。英語への関心が高まるような励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 英語学習のテレビ・ラジオ放送や英語学習用教材サイト等をご活用ください。(文部科学省のホームページでもたくさん紹介されています。)

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

- (1) 結果 ※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した生徒の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	71.4%	78.6%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	71.4%	34.7%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	57.1%	54.8%
自分にはよいところがあると思いますか。	71.4%	37.2%
将来の夢や目標を持っていますか。	28.6%	39.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	85.7%	71.7%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100%	80.3%

生活習慣については、全国平均と同様か上回っています。生活のリズムを大切にしていくことはとても重要です。今後も家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。

自己肯定感や規範意識の項目については、「将来の夢や目標を持っていますか」については全国平均を下回っていますが、「どちらかといえば当てはまる」まで含めると100%になり、肯定的な回答をした児童は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校 %	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	14.3%	15.3%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。	14.3%	10.3%
「3時間以上」		
「2時間以上、3時間より少ない」	14.3%	23.4%
「1時間以上、2時間より少ない」	28.6%	32.1%
「30分以上、1時間より少ない」	42.9%	18.0%
「30分より少ない」	0.0%	9.9%
「全くしない」	0.0%	6.0%

家庭学習については、授業時間以外の勉強時間が全国平均と比べ少ない傾向になっています。毎日の学習については習慣ができているようなので、今後、家庭学習の充実を目指し、自分の目標に向かって家庭学習を行っていくことについて指導していき、自主的に学習できる力、学習をマネジメントできる力を育てていきます。

- (2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- ノルティースコラライト等を利用し、自主学習をする内容を記入させ、学習計画を立てさせます。自分に必要な学習内容を考えて行う力を付けていきます。
- 思考力・判断力・表現力を向上させるために、朝の会、ブロック集会、委員会活動等の様々な場面でスピーチ活動を行っています。今後も継続して行っていきます。
- 毎週「言の葉タイム」を実施し、読み解く力をスキルアップさせます。

【ご家庭では】

- 「学習の手引き」を配布しています。各教科の授業への取り組み方や家庭学習のポイント等を掲載しています。参考にされて、毎日家庭学習に取り組むお子さんへのアドバイスをお願いします。また、今後ともお子様の家庭学習の取組に協力と支援をお願いしたいと思います。
- 規則正しい生活習慣や家族との関わり、地域の方との交流を通して、子どもたちの学習に向かう基盤となる人間性が育まれます。1つ成長したら、みんなで喜び、励ましたり褒めたりしてください。